

NVC Monthly

同好会ニュース

寝屋川映像同好会会報

第90号(201701)

発行 竹田 幸男



映像協会忘年会を開催

12月18日、総合センター4階視聴覚室で9:30から合同例会を開催、その後貸し切りバスで市駅前、がんこへ移動、例年のように乾杯から始まって食事、歓談の後、持ち寄り品のジャンケン争奪戦に入り、ハードディスク、充電器付き充電電池などをゲットして、楽しくお開きとなりました。

例会の窓

平成28年12月例会

日時：12月14日（水）13：30

場所：市民活動センター4F こども部屋

出席者：新井 小笠原 佐伯 妹尾 竹田 谷
八日市市 木下幸男氏

欠席者：2名 （50音順・敬称略）

例会次第

1. 報告・連絡事項

(1) 会報 佐伯さん

2. 協議事項

(1) 本年度第2回撮影会の結果と反省

- ・11月15日（火）予定の所、天候に確信が持てず17日（木）に延期。結果好天に恵まれたが、参加できない人も出てきた。モデルと飛び入りモデルのおかげで楽しい撮影会ができた。

(2) 今年の市民文化祭 体験教室の結果

- ・市民文化祭の体験教室には多数の参加を得て有意義だった。

(3) 3月のビデオ作品発表会の計画

- ・規模は前回並みか
 - ・9 / 1 1 会場申し込み済み
 - ・1 / 2 2 プログラム原稿決定
 - ・3 / 1 1 実施
 - ・1 / 1 1 出品作品決定
 - ・2 / 8 プログラム配布
- 松愛にも載せてもらうように手配済み

(4) 今年の忘年会は12月18日 9：30より総合センター視聴覚室で合同例会、その後駅前 がんこへ移動 忘年会（4500円）プレゼントの用意を。

(5) 新年昼食会 1月11日市民会館近く、ラ・ボッテガで開催

- ・2000円程度 近いので12：00開会 13：30から例会

3. 映写・研究発表

(1) 木下さん 「秋の舞踊」内田流 2カメラで撮影されたもの。長時間のため、一部分を映写。撮影時の状況などを話して頂いた。

(2) 新井さん 「南 安次さんの挑戦」 10分 田んぼアートのシリーズ、南さんの農業経営の姿勢を中心に纏められた。発表会出品作品。

(3) 新井さん 「田んぼアート 遍歴」 9分40秒 田んぼアートのシリーズ、毎年アート図柄の変遷がテーマ。発表会に2作同時に出すと、重複するカットが多いので再検討をお願いした。

(4) 竹田さん 「せっちゃんのカメラ日記」佐伯さんの静止画をムービーメーカーを使って動画風にまとめた試作。こんな作り方も出来る、と言うサンプルとして持参した。

- (5) 竹田さん 「私たちの小さなしあわせ」 4分35秒 摂津峡撮影会での作品、飛び入りのモデルさんを加えたバージョンとして制作した。
- (6) 谷さん 「立山雄山御来光登山」 8分 発表会出品作品、今回は音楽を変更された。それだけで作品のイメージがかなり変わってきた。
- (7) 中村さん(映像寝屋川会員参考作品) 「ドローンの撮影」ドローンで撮影した地上の映像と、そのドローンの飛行状態を地上から撮影した映像を含む実験的作品。

4. 各会員の最近の活動状況・情報交換・当面する問題点等



詩人 S さんのこと

佐伯節子

私は田舎育ちなので自然が恋しく、休日になると緑を求めて狭い家から脱出していた。

子供たちが小さい頃はお金のかからない淀川河川敷が定番。

大阪府立植物園は私市まで電車代が要るので時々。確か当時入園料は無料だった？ 今は350円。シニア割はない。残念。

ここは竹炭絵付けボランティアに行く文化センターの隣なので、いつでも行けるはずだが、前回行ったのは桜とタンポポが満開の春だったわ。

Sさんに出会ったのは昨年、初冬のある日。紅葉を見たくなって行ってみた。いつも気まぐれ天気次第。雨女なので早めに計画すると降られるから、今の天気を見て残り物でささっと弁当作り。

園前の信号を待つ間に話しかけられ、何となく一緒に散策することに。私はひとりで気ままに行きたかったのに、ずっとついてくる・・・。

受付で「今はメタセコイヤの紅葉が見頃です」と言われた。その前では高そうなカメラと三脚を持ったおじさま団体が撮影中。前に立ったら怒られた。

小春日和の日差しを浴びながらふたり、おしゃべりしつつ彼女の歩調に合わせて歩く。空は抜けるように青く、年老いたイチョウは黄金色に輝く。ああ詩人だね～イチョウを背景に、園の職員さんが私のカメラで二人を撮ってくれた。カメラの調子が悪くピンぼけだったが、Sさんはその写真を送ってほしいという。ま、この年になるとピンぼけの方がよい場合もあるわな。

渡された名刺には「関西詩人協会会員・日本現代作家連盟会員」の肩書きが。植物一つ一つに関心を示し、人とも積極的にとふれあう姿勢が見えたのは、やっぱり詩人だからかしら。植物についてはすっかり意気投合。

「じゃ、私弁当食べますので」とベンチに座ったら彼女も一緒に座る。一人では

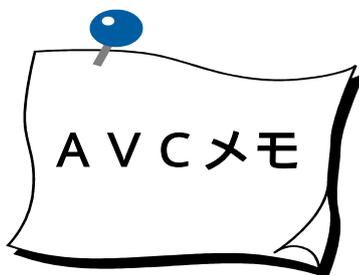
食べにくいので「食べます？」とおにぎり1個わたす。いつもは1個だけど2個持っていて良かった。おかずは残りものだからあげられない。

後日、写真を送ったら、同人誌とご本人の詩集も送ってくれた。Sさんが発行人を務める同人誌は2007年から始め、詩集発行も5冊目らしい。

「詩はどうも・・・」と敬遠していたが、読めばわかりやすい文体で難解ではなかった。

しかし、私のレベルでは深いところまで汲めたかといえ、疑問。付録の解説文を読んで「ああ、そういうことが・・・」と納得する始末。

本の内容は、ベンチで昼食とりながら聞いたものとはほぼ同じだが、表現力というものはその人独自のもの。映像表現も同じかもしれないと思った。長崎生まれで、現在は交野市在住。年齢は私の一回り上のお姉様。80歳過ぎても元気で活躍する姿を見て、いつもの「先輩見習って団塊世代も頑張ります」。



「ファイルがありません」！？

竹田 幸男

編集作業をしながら、「今日は、これぐらいにしておこう」といって、編集作業を打ち切り、編集結果をプロジェクトファイルに残して終了した、とします。

翌日、プロジェクトファイルを開いて編集の続きをしよう、としたとき、「ファイルがありません！」と言われたことがありますか。

その結果として、編集ソフトによって表示の仕方は様々ですが、例えばEdiusではタイムラインに斜線がかかる、プレミア・エレメンツではタイムラインが赤く変色するなどして編集が続けられないようになります。

これにはいろいろな原因がありますが、主なものを挙げてみましょう。

- 1．映像データのファイル名、またそれを保存しているフォルダの名称を変えてしまった。
- 2．映像データのファイル、フォルダーなどの保存場所を変えてしまった。
- 3．映像データのファイルが保存されているドライブを、パソコンから外してしまった。
- 4．映像データを保存してあるドライブ（ハードディスクなど）のドライブ文字が何らかの原因で変わってしまった。

このなかで、1．の「映像データのファイル名、またそれを保存しているフォルダの名称を変えてしまった。」は、編集を始めた後で、わかりやすくするために映

像ファイルやフォルダーの名前を修正したい、と思うことがありますが、パソコンは最初編集を始めたときのフォルダ名、ファイル名を頼りにして、収納されているドライブから映像を読み出してくるので、その名前が変わってしまうと、もう呼び出すことが出来なくなります。一旦編集を始めたら、途中では絶対にフォルダ名やファイル名を変えないように気をつけましょう。

2. の「映像データのファイル、フォルダーなどの場所を変えてしまった。」も、仮に名前が変わらなくても、フォルダーやファイルの場所を変えてしまうと、パソコンは映像データを呼び出すときにプロジェクトファイルに最初に書き込まれた場所を探します。そこに見当たらなかつたら、すぐ近くにあったとしても、もう見つけることは出来ません。だからいったん編集を始めたら、ファイルやフォルダーの場所は変えないようにしましょう。

3. の「映像データのファイルがあるドライブを、パソコンから外してしまった。」は論外です。パソコンはつながっていないものは探してくれません。良くあることですが、編集中にBGMを入れたいと、DVDドライブやBDドライブにCDを入れて、CDから取り出した音楽をBGMとしてタイムラインに入れ、編集が終わった後でCDを取り出してしまうと、次に編集を再開したときにプロジェクトファイルはCDを探しに行きませんが、そこにはCDが入っていないので、「データがありません」ということになります。

それでは最後に、4. の「映像データをしまっているドライブ（ハードディスクなど）のドライブ文字が変わってしまった。」について説明します。

ドライブ文字（ドライブレター）とは「C」に始まり「Z」まで続くアルファベットの文字で、「C」は、パソコンを動かす基本的なソフトウェアが入っています。「A」や「B」はないのかというと、以前はあったのですが、それは「フロッピーディスクドライブ」というものに割り当てられていました。

「フロッピーディスク」というものが使われなくなったので、今は「A」「B」は欠番になって、「C」から始まっています。「C」は通常ハードディスクですが、最近は「SSD」という半導体ドライブも使われています。ハードディスクを2つに分けて「C」と「D」にしてある場合が多いです。そうなると次のDVDドライブやBDドライブのドライブ文字が「E」となり、外付けのハードディスクが「F」になる、と言う順になります。

このような組み合わせの場合、外付けのハードディスクに撮影した映像データを保存してから編集にかかりますが、何らかに理由でこの外付けのハードディスクに付けられた「F」というドライブ文字が変わってしまう場合があります。

先ほど挙げた例で「フォルダ名」や「ファイル名」が変わると、パソコンはファイルを探し出せません。ドライブ文字は「フォルダ名」の前に付いていますから、これが変わってもパソコンはファイルを探し出せません。

ではなぜ、ドライブ文字が変わってしまうのでしょうか。最も多い例はUSBメ

メモリなどを接続することにあります。例えば先ほどの例で、「C」「D」は内蔵のハードディスクで、DVDドライブが「E」、外付けハードディスクが「F」の場合としましょう。外付けハードディスクを外したままUSBメモリを使ったとしましょう。この場合USBメモリーが「F」ドライブになります。USBメモリーを差したまま、後から映像データの入った外付けハードディスクを接続すると、この、今まで「F」ドライブとして扱っていた外付けハードディスクが「G」ドライブになってしまいます。パソコンは映像データが「F」ドライブにあると思って探しますが、それはUSBメモリーなので、映像データは見つかりません。そこで「データがありません」となってしまいます。このようなことになるのを防ぐには、USBメモリーはパソコンに差しっぱなしにせず、用が済んだら、直ちに抜いてしまうように癖を付けましょう。

しかし、このようにして映像ファイルの入った外付けハードディスクのドライブ文字（ドライブレター）がひとたび変わってしまうと、USBメモリーを取り出した後も外付けハードディスクは「G」のままになります。また、電源を切って入れ直しても、外付けハードディスクのドライブ名は「G」のままになって、直らないとすると、いったん始めた編集が続けられなくなります。ドライブレターを元に戻す方法を次に申し上げます。

次の例では、外付けのハードディスクのドライブ文字を「G」として編集を始めた後、ドライブ文字が「E」に変わってしまったものを、元の「G」に戻したい、という例を挙げています。画面はウィンドウズ7の場合で、ウィンドウズ10でも同じです。

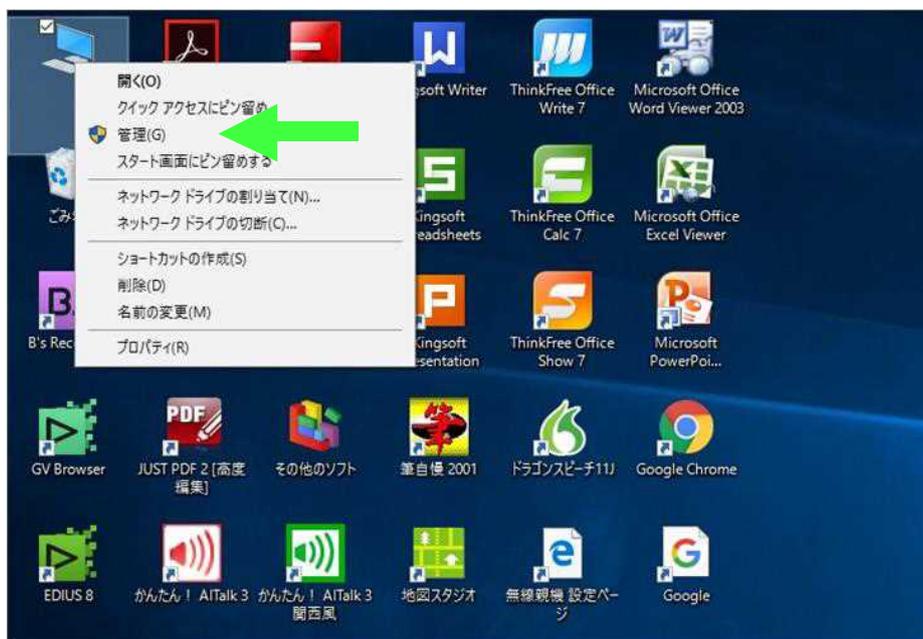


図1
まずデスクトップの「コンピュータ」のアイコンを右クリックして、出てきた小窓の中の「管理(G)」をクリックします。

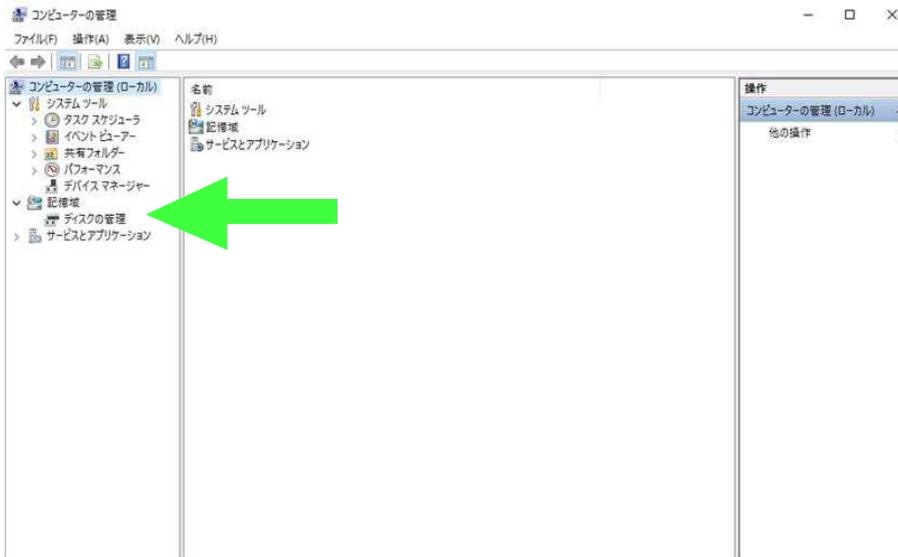


図2
出てきた「コンピュータの管理」の画面で「ディスクの管理」をクリックします。

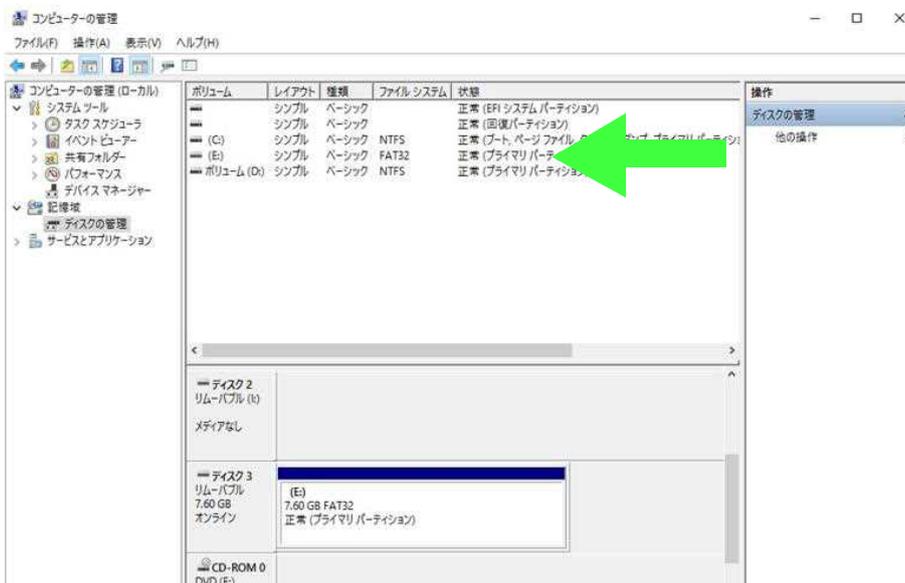


図3
出てきたディスク一覧でドライブ名を変更したいディスクを選択します。この例では「E」ドライブを「G」ドライブにしたいわけですから「E」を選択します

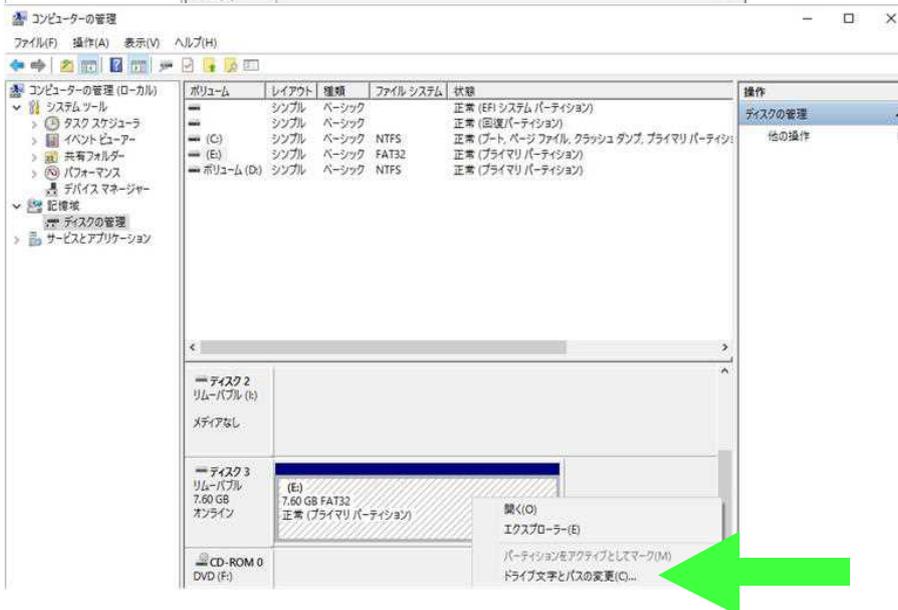


図4
選択したドライブ「E」を右クリックして「ドライブ名とパスの変更」を選択

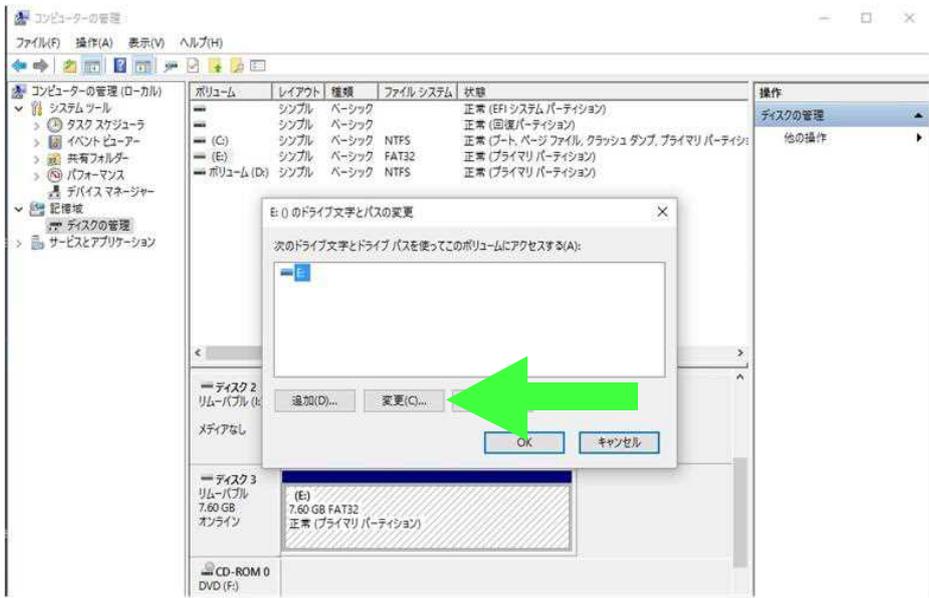


図5
出てきた小窓の中の「変更」をクリックします。

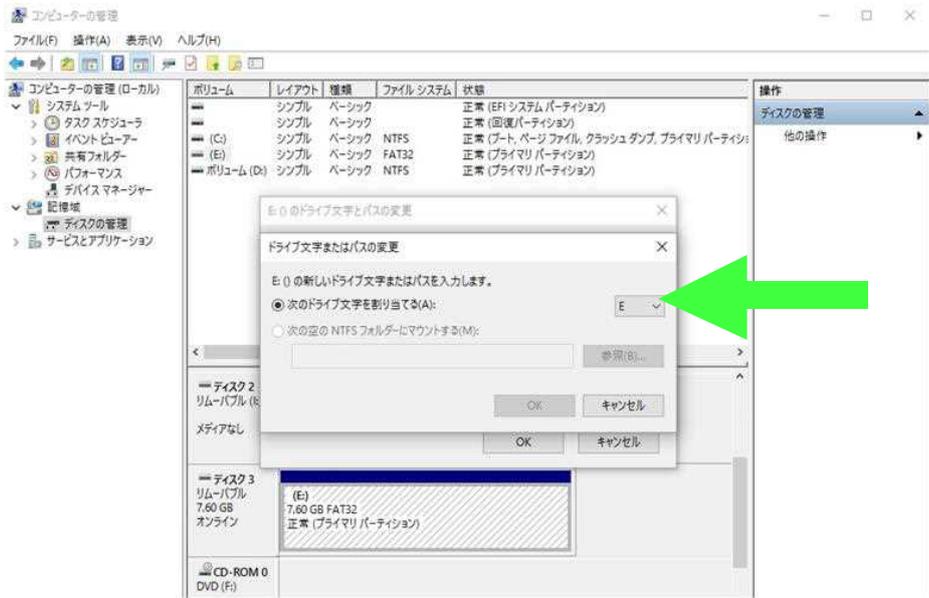


図6
「次のドライブ文字を割り当てる」で元のドライブ名「E」となっている右の小窓をクリックします。

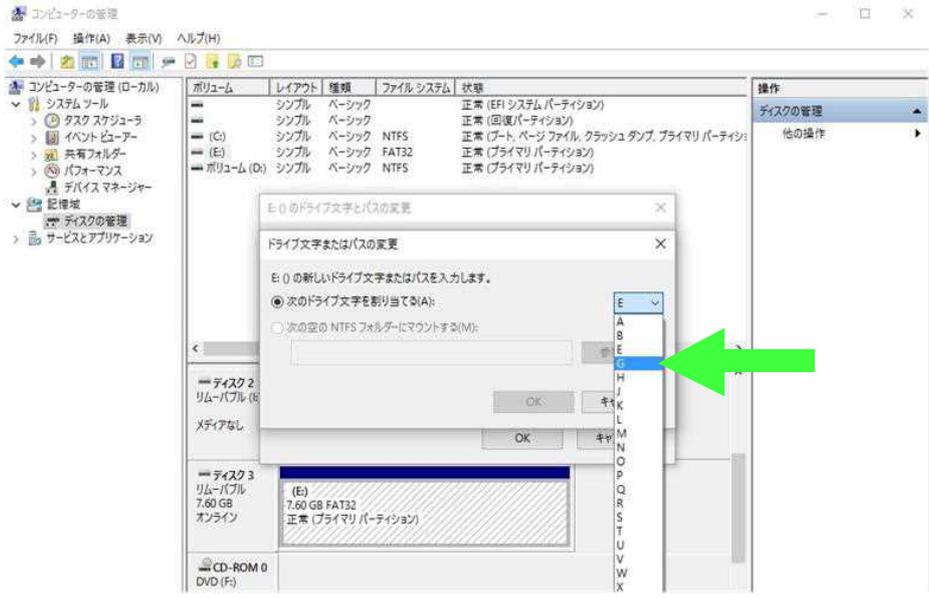


図7
出てきた小窓の中に、変更可能なドライブ文字の一覧が出てきますから、目的とする変更後のドライブ文字「G」を選択して「OK」をクリックします。

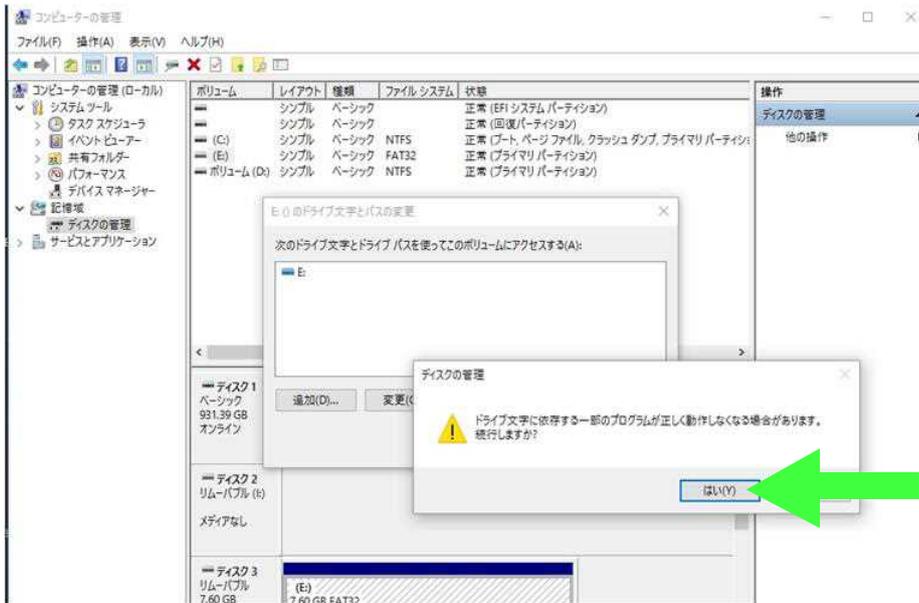


図 8
すると「ドライブ文字に依存する一部のプログラムが正しく動作しなくなる場合があります。続行しますか。」という警告が出ますが、ためらわず「はい」を選択するとドライブ文字変更が完了します。

ここで、気をつけなければならないことは、このようなドライブ文字を元に戻す作業は、中途半端に本来ではないドライブ文字に変わってしまった状態（本来は「G」であるところを誤ったドライブ文字「F」）で編集を再開した後に、「G」に戻そうとすると、今度はドライブ文字「F」で編集をした部分が、出てこない、というややこしいことになるので、「ファイルがない」とわかったら、何もいじらないうちに図1～図8のドライブ文字を元に直す作業を始めてください。

以上、お話したように、パソコンはファイルの探索を「ドライブ文字」「フォルダ名」「ファイル名」を手がかりにして探しますから、これらの名前と順序を編集を始めた後に、一切変えないように注意すれば「ファイルがありません」と言われて編集が前に進まない、というアクシデントに見舞われないで済みます。